

SUPER GT x DTM ドリームレース

BMW M MOTORSPORT メディアガイド



Sheer
Driving Pleasure

▶ SEASON REVIEW

DRIVERS

TEAM

BMW M4 DTM

PARTNERS

MEDIA CONTACT

新時代へ始動

DTM 2019年 シーズン



2019年のDTMシーズンは、4気筒ターボエンジンを搭載したクラス1の新しい時代が始まりました。BMW M Motorsportでは、モータースポーツ活動を通してBMWターボパワーの50周年目を迎え、2019年は特別な記念すべき年となりました。クラス1のレギュレーションをもとに開発されたBMW M4 DTMは、これまでにBMWが開発した中で、最も強力なDTMマシンでしょう。その中核を担うのは、新たに開発されたBMW P48 型2リッターターボエンジンで、BMW M Motorsportのレース活動において、新たなターボの歴史の成功の扉を開いたのです。

今シーズンの開幕戦のホッケンハイムでの第一戦目では、マルコ・ヴィットマンがポールポジションを獲り、ターボパワーの新BMW

M4 DTMが初勝利を挙げ、まるで詠えたかのような素晴らしい幕開けとなりました。BMWのDTMチームは2019年シーズンを通して、6度の勝利を祝い、BMWのDTMドライバーは表彰台に14度立ち、BMW M4 DTMはポールポジションから6回スタートしました。

また、今シーズンのDTMでは、日本のSUPER GT選手権との関係がさらに強化され、もうひとつの新しい時代が始まりました。日本の自動車メーカーが10月のホッケンハイムでのDTM最終戦にゲスト参戦、そして次に日独両シリーズは11月に富士で開催される史上初の交流戦となる『SUPER GT x DTMドリームレース』へ参戦します。これは間違いなく今季の最大のハイライトとなるイベントとなることでしょう。

▶ SEASON REVIEW

DRIVERS

TEAM

BMW M4 DTM

PARTNERS

MEDIA CONTACT

ドリームレースのためのドリームチーム

トップクラスのトリオがBMW M4 DTMをドライブ



『ドリームレース』のためのドリームチーム: BMW M Motorsport は格別なドライバートリオで富士の『SUPER GT x DTMドリームレース』に参戦します。2度のDTMチャンピオンを誇るマルコ・ヴィットマンとBMWワークスドライバーであり、BMWブランドアンバサダーを務めるアレックス・ザナルディ、そして元F1ドライバーで、日本が誇るヒーロー 小林可夢偉が、3台のBMW M4 DTMをドライブします。

BMWグループモータースポーツディレクター イエンス・マルクウルト: 「マルコ・ヴィットマンは、近年最も功績を挙げたBMWのDTMドライバーであり、日本でのDTMプログラムを代表するパーフェクトな大使としての役割を果たすことでしょう。世界中の人々にインスピレーションを与える存在であるアレックス・ザナルディと日本で共に戦えることを、とても非常に素晴らしいと思います。2018年のミサノでのDTMゲストドライバーとして、そして今年のデイトナ24時間レースで見せた時と同様の情熱と感動を、再び私

たちに与えてくれると確信しています。小林可夢偉は、F1やル・マン、ABB FIAフォーミュラE選手権という最高峰クラスにおいて、彼の多彩な才能を発揮し、その実力を証明していますので、BMW M4 DTMをドライブしても速さを示してくれることでしょう。私たちBMMは、彼ら最強のドライバートリオで富士に挑みます。」

ドリームレースに参戦する3台のBMW M4 DTMは、BMW Team RBMによってメンテナンスが行われます。チームマネージャーのバート・マンパイ率いるチームは、BMWがDTMにカムバックした2012年以来、DTMに全戦参戦しています。DTMへ参入する以前には、FIAワールドツーリングカー選手権 (FIA WTCC) において、岡山での勝利をはじめとし、長年にわたって功績を残しました。BMW Team RBMは、2年前にもてぎで開催されたSUPER GT最終戦でのDTMのデモランの際に、BMW M4 DTMと共に来日を果たしています。

マルコ・ヴィットマン

2度のDTMチャンピオン経験者

マルコ・ヴィットマンは、フォーミュラBMWでレースキャリアをスタートし、2013年からはBMWワークスドライバーとしてDTMで活動をしています。2014年と2016年にDTMチャンピオンを飾り、彼のキャリアの中の最高の勝利を祝いました。2013年から挙げた通算15勝により、DTMシリーズ史上の中で最も功績を挙げたドライバーの一人に認定されました。2019年のシーズンには、BMW M4 DTMに4度の勝利をもたらし、表彰台には7度立ち、BMWドライバーとして最高位となるドライバーズランキングの総合3位で今シーズンを終わりました。

誕生日 1989年11月24日

出生地 ヒュルト (ドイツ)

/// 主な功績

2019年	DTM	3位
2018年	DTM	4位
2017年	DTM	5位
2016年	DTM	1位
2015年	DTM	6位
2014年	DTM	1位
2013年	DTM	8位、ルーキー オブ イヤー獲得
2011年	フォーミュラ3 ユーロシリーズ	2位
2010年	フォーミュラ3 ユーロシリーズ	2位
2008年	フォーミュラBMW ヨーロッパ	2位



マルコ・ヴィットマン: 「富士で開催される『ドリームレース』に参加できることを非常に喜ばしく思います」「私にとって憧れの存在であるアレックス・ザナルディと小林可夢偉とタッグを組み、最強のチームとなります。既に日本を訪れたことはありますが、富士へ行くのは今回が初めてです。人々はとてもフレンドリーで、非常に熱心にモータースポーツを愛して止まないファンで溢れている日本が大好きです。レースとイベント、特にSUPER GTを間近で体験できることを非常に楽しみにしています。」

アレックスandro・ザナルディ

ミスター“ノーリミット”

アレックスandro・ザナルディの生きることへの情熱や常に前向きな姿勢は、世界中の多くの人々に真のインスピレーションを与える存在です。2001年に起きた不慮の事故で両足を失ったという事実は、53歳のイタリア人にとってもはや障害ではありません。BMW M Motorsportのエンジニアが、彼の身体に合わせてマシンを特別に改良し、2003年からモータースポーツ活動を再開しています。

2018年8月にイタリアのミサノでゲストドライバーとして参戦し、日曜日のレースでセンセーショナルな5位入賞を果たしたザナルディにとってのDTMレースは、今回の『ドリームレース』で2度目の挑戦となります。ザナルディはいつの日も無限の熱意をもって、すべてのプロジェクトに挑み続けています。それはパラサイクリングにおいても変わらず、これまでに4つのパラリンピックの金メダルと12の世界選手権タイトルを獲得しています。

誕生日	1966年10月23日生まれ
-----	----------------

出生地	ボローニャ (イタリア)
-----	--------------

/// 主な功績

2019年	BMW M8 GTEを駆り、デイトナ24時間耐久レースへ参戦
-------	--------------------------------

2018年	BMW M4 DTMを駆り、ミサノ戦へゲストドライバーとして参戦
-------	----------------------------------

2016年	BMW M6 GT3を初ドライブし、イタリアンGT選手権で優勝
-------	---------------------------------

2015年	BMW Z4 GT3を駆り、スパ24時間耐久レースへ参戦
-------	------------------------------

2014年	BMW Z4 GT3を駆り、ブランパンスプリントシリーズへ参戦
-------	---------------------------------

2005～2009年	FIA WTCC選手権へBMWを駆り参戦 (4勝)
------------	---------------------------

2003年	BMWでレーシングドライバーとしてカムバック
-------	------------------------

1999年	フォーミュラ1へ参戦
-------	------------

1997～1998年	カート ワールド シリーズ (チャンピオン2回獲得)
------------	----------------------------

1991～1994年	フォーミュラ1へ参戦
------------	------------



アレキサンダー・ザナルディ: 「DTMとSUPER GTの『ドリームレース』に参戦することは、私にとって素晴らしいことです。『素晴らしい』という言葉自体は、頻繁に使用されていますが、私にとっては本当の意味で適切に表現された言葉なのです」「この機会を与えてくれたBMW Motorsportに非常に感謝しています。これが私のレースキャリアのもう1つの美しい章を綴ることとなるでしょう。」

小林可夢偉

日本の誇るヒーロー

小林可夢偉は『ドリームレース』のBMWトリオを飾る地元のヒーローです。彼は初めてBMW M MotorsportのDTMマシンを駆り、偉大なる富士山を臨む4.563kmの富士スピードウェイへと挑みます。

75回のF1レースに出場し、ル・マン24時間レースで3度 2位に入賞を果たしました。2015年からはスーパーフォーミュラ選手権へ参戦。2017年12月にはABB FIA フォーミュラE選手権の香港 E-Prixの2レースにおいて、当時のBMW MotorsportのパートナーであったMS&ADアンドレッティ フォーミュラEをドライブしました。

誕生日	1986年9月13日
-----	------------

出生地	兵庫県尼崎市
-----	--------

/// 主な功績

2019年	ル・マン24時間耐久レース 2位
-------	------------------

2018年	ル・マン24時間耐久レース 2位
-------	------------------

2016年	ル・マン24時間耐久レース 2位
-------	------------------

2014年	フォーミュラ1へ参戦
-------	------------

2009~2012年	フォーミュラ1へ参戦
------------	------------

2009年	GP2 アジアシリーズ 1位
-------	----------------



小林可夢偉: 「富士で開催される『ドリームレース』に、BMW MotorsportがBMW M4 DTMをドライブするオファーをしてくださったことと、トヨタにはBMWで出走する機会を与えてくださったことに、とても感謝しています。BMW M4 DTMでファンに良いショーを見せられるようにベストを尽くしたいと思います。」

BMW TEAM RBM

モータースポーツは家族の伝統

レーシングの血筋：ベルギーに拠点を置く BMW Team RBM のチーム代表のバート・マンパイは、熱狂的なレーシングファミリーの出身です。父のジュリアンも BMW のレーシングチームを運営し、1970年代には国際的なレースで活躍して多くの功績を残しました。1995年、バートはレーシング・バート・マンパイの頭文字3文字をとった BMW Team RBM をチーム名にした自身のチームを立ち上げました。チーム創立して僅か3年後の1998年にはスパ24時間レースで総合優勝を果たし、2000年代の初頭には BMW で FIA 世界ツーリングカー選手権 (FIA WTCC) を連覇しました。

BMW Team RBM は、2012年から BMW と共に DTM に参戦しています。2019年シーズンのハイライトとなったレースは、本拠地であるベルギーのゾルダーで、チームに所属するフィリップ・エングとジョエル・エリクソンの2名がワン・ツーフィニッシュを決め、自国での勝利を祝いました。

チーム創立	1995年
チーム監督	バート・マンパイ
チーム所在地	メッヘレン (ベルギー)
2019年	DTM チームランキング 6位
2018年	DTM チームランキング 8位
2017年	DTM チームランキング 4位
2016年	DTM チームランキング 3位
2013年	DTM チームランキング 2位
2012年	DTM チームランキング 6位
2007年	FIA WTCC 1位
2006年	FIA WTCC 1位
2005年	FIA WTCC 1位
2004年	FIA ETCC 1位
1998年	スパ24時間耐久レース 総合1位
1997年	スパ24時間耐久レース 1位 (グループNクラス)



バート・マンパイ：「ドリームレースにおいて、BMW M4 DTM のサポートチームとして選出してくれた BMW に感謝します。SUPER GT のホームレースとなる富士スピードウェイでのレースは、私たちにとっては大きな挑戦となります。日本が誇る 小林可夢偉、マルコ・ヴィットマン、そしてアレックス・ザナルディという、非常に興味深いドライバーラインナップで富士に挑みます。チーム全員がドリームレースをととても楽しみにしており、私自身も日本のファンです。ドリームレースを迎える日を心待ちにしています。」

BMW M4 DTM

最強のBMW DTMマシン

SEASON REVIEW

DRIVERS

TEAM

▶ BMW M4 DTM

PARTNERS

MEDIA CONTACT



DTMにクラス1規定が導入されたことにより、BMW M Motorsportは、2019年シーズンのBMW M4 DTMマシンの一部を変更しました。最も重要な改新部分はエンジンです。エンジンコードナンバーP48の新しく開発されたターボエンジンは、600馬力を超えますが、以前のモデルよりも燃費は大幅に改良されています。BMWの量販車用エンジンと同様に、P48は直接噴射式のターボチャージャー付き2リッター直列エンジンです。P48を搭載したBMW M4 DTMは、BMWが今まで製作した中で最も強力なDTMマシンとなりました。

ターボエンジンは、2019年シーズンのBMW M4 DTMマシンにおける多くの革新の1つです。従って、BMWの2リッターターボエンジンのインタークーラーのボンネットの冷却口が大幅に拡大しました。

排気システムは完全に新しいコンセプトの元で開発され、車両の右側にテールパイプを1本のみ装着しています。

新規定におけるBMW M4 DTMの最低車体重量は、2018年モデルよりも軽量化されています。エンジン出力の増加に伴い、1.6 kg / hpの出力重量比を大幅に削減しました。BMW M4 DTMの最高速度は約300 km / hを実現します。リアウィングは前年モデルよりも幅が広くなり、プロファイルは1枚で、ユニットのコンセプトは、日本のSUPER GT選手権の規定をDTMに採用されたものです。

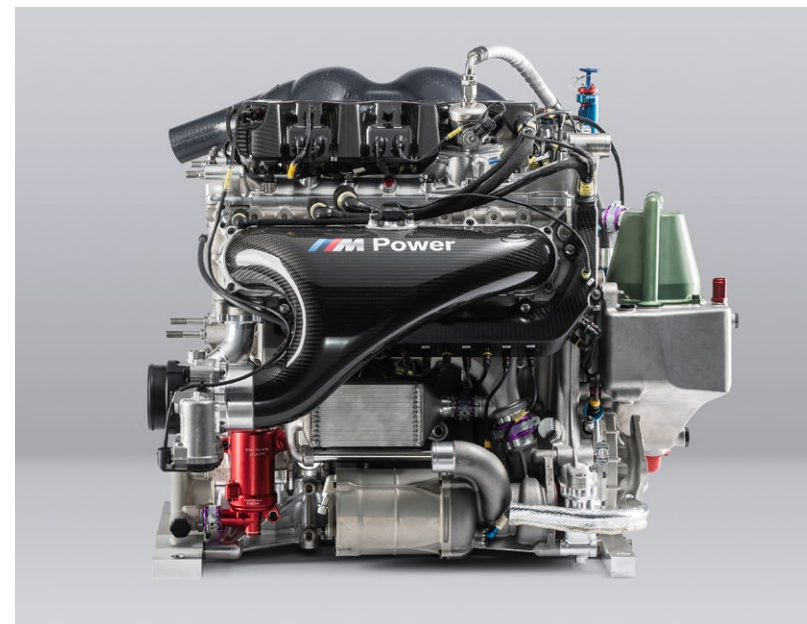
BMW M4 DTM

テクニカルデータ

全長	4.725 mm (リアウィングなし)
車幅	1.950 mm
車高	約1.200mm
車重	1.070 kg (レギュレーションによりドライバーの体重を含む)

/// エンジン

型式	P48型、4気筒 直噴ターボエンジン
排気量	1.999 ccm
重量	85 kg (ベース重量はレギュレーション基準)
ボア径	86~90mm
回転数	最高 9.500 U/min
出力	600馬力以上
燃料流量	レギュレーション規定 95 kg/h プッシュトゥパス使用時100 kg/h
サービスライフ	6000km以上 (1シーズン) - BMWランズフート工場製鋳造アルミ製 シリンダーブロック及びシリンダーヘッド - スチール製クランクシャフト - 1気筒につき4バルブ ロッカーアームを介したスチールカムシャフト - 歯車駆動による高圧直噴 BMW量販車用エンジンと同様の350 bar ドライサンプシステム
加速	2,6 (秒) / 0-100 km/h
最高速度	約300 km/h



タンク容量	120ℓ
シャーシ	カーボンモノコック (燃料タンクとスチール製ロールケージ搭載済み) カーボン製クラッシュボックス サイド・前後
トランスミッション	6速シーケンシャルシフト ステアリング搭載のパドルによる油圧駆動 4カーボン プレートクラッチ (ZF製); 機械式ディファレンシャル (多板クラッチ式)
フロントアクスル/リア アクスル	ダブルウィッシュボーン+プッシュロッド ショックアブソーバーは6段減衰力調整式 コイルスプリング (H&R社製)
ブレーキ	2系統式油圧ブレーキ・軽合金製モノブロックキャリパー ベンチレーテッドカーボンローター (フロント・リア) 前後制動力配分はドライバーにより無段階調整可能 ソレノイドバルブ式パーキングブレーキ
ホイール	鍛造アルミニウムホイール; フロント18 x 12"、リア 18 x 13"
タイヤ	ハンコック; フロント: 300-680-18、リア: 320-710-18

PARTNERS

BMW Bank

CATL

SCHAEFFLER



**BMW Driving
Experience**



SEASON REVIEW

DRIVERS

TEAM

BMW M4 DTM

PARTNERS

► MEDIA CONTACT

11

MEDIA CONTACT



Ingo Lehbrink

Spokesperson BMW Group Motorsport

Phone: +49 (0)176 – 203 40 224

E-mail: ingo.lehbrink@bmw.de

Benjamin Titz

Head of BMW Group Design, Innovations

& Motorsports Communications

Phone: +49 (0)179 – 743 80 88

E-mail: benjamin.titz@bmw.de

Media Website.

www.press.bmwgroup.com/deutschland

BMW Motorsport on the web.

